



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2800
2006～2007



8 Vol.2
ガバナー月信 第2号



庄内・砂丘メロン



国際ロータリー第2800地区[2006～2007]

ガバナー：関原 亨司 RI会長：ウィリアムB. ボイド
RI 理事：重田 政信／渡辺 好政

サンディエゴ日記 Vol.1

国際協議会の思い出

ガバナー 関原 亨司



早いものです。国際協議会（2006. 2/16～23）から6ヶ月が過ぎました。協議会の内容も一部を残して忘れかけてきました。記憶に残る事柄を皆さんに紹介したいと思います。

「入りて学び」「出でて奉仕せよ」の看

板のある本会議場へ緊張に緊張を重ねての入場。ステンハマー会長(当時)の歓迎の挨拶の後、ウィリアムB. ボイドRI会長エレクト(現会長)「ロータリーは地球村のリーダーです。来る年度、私は皆さん一人一人にそれぞれの地区と地域社会において、リーダーの役割を果たして下さい。寛容と思いやりと誠実さを日々実践し自ら手本を示すことによって、ロータリーの道を率先するのです。」ここで新しいテーマのロゴも紹介され、国際協議会は最初の山場を迎えました。ガバナーエレクトがこの会場に足を踏み入れた時、一番期待した瞬間がこの時だったと思います。「オオー」とも「アアー」とも言葉にならないどよめきの様相でした。日本人の我々ガバナーエレクト仲間は、大方「わかりやすいテーマでホッとした」と話をされていました。「率先垂範」「率先躬行(きゅうこう)」「率先励行」などの四文字熟語に馴染んでいたからでしょうか。日本国旗をバックに“Lead The Way”が映えていました。

Contents

サンディエゴ日記 Vol.1.....	2
ガバナーメッセージ.....	3
会員増強・拡大月間に寄せて.....	4
ガバナー補佐メッセージ.....	5
ガバナー公式訪問奮闘記.....	10
GSEチームメンバー募集要項.....	12
ロータリー文庫通信.....	14
新入会員紹介、他.....	15



8月の行事予定

- 8月 2日[水]・3日[木]
インターアクト年次大会(温海)
- 8月18日[金]～20[日]
インターアクト地区外研修(2670地区・四国)
- 8月26日[土]
地区米山奨学セミナー(山形)

8月の公式訪問

8月 2日 [水] 朝日	8月22日 [火] 山形南
8月 3日 [木] 白鷹	8月23日 [水] 上山
8月 7日 [月] 中山	8月28日 [月] 山形イブニング
8月 9日 [水] 小国	8月29日 [火] 山辺
8月11日 [金] 天童	8月30日 [水] 村山ローズ
8月21日 [月] 山形西	8月31日 [木] 山形北



国際ロータリー
第2800地区
2006-2007年度ガバナー

関原 亨 司

クラブの活性化で会員増強を。

今月8月は、会員増強および拡大月間です。

全体的に会員減少の傾向にある中、我が第2800地区も危機的状況にあると言っても過言ではありません。過去に於いて地区の最多会員数は、2,400名位と聞いています。今年度2,000名を切る恐れがある状況です。どんな状況であれ、先輩ロータリアンが築いたこの実績を、ワースト記録として残す訳にはいきません。そこで、地区チーム研修セミナー、PETS等の機会がある度に会員増強の意義を説いてきましたので、充分ご理解を戴いている事と存じます。今年は会員増強委員会を「会員増強退会防止委員会」と改めました。まず退会をストップしようと言うことです。

地区会員増強活動と傾向を把握するため国際ロータリーは毎年、地区会員増強委員長を対象にアンケート調査を行っています。この調査票は、2004～05年度に全世界の459地区の会員増強委員長へ送付されました。その結果205件の回答がよせられ、回答率は45%となりました。会員増加に寄与したと思われる要因を挙げるよう求めたところ、以下のような回答が寄せられました。

- | | |
|---------------|-------|
| 1) クラブの指導力の充実 | 63.3% |
| 2) 退会防止活動の増加 | 54.3% |
| 3) 会員勧誘活動の増加 | 52.3% |

又、会員の減少に繋がったと思われる要因は、の質問に対しては

- | | |
|----------------------|-------|
| 1) クラブの指導力の弱さ | 68.1% |
| 2) クラブのあり方に魅力が乏しい | 52.2% |
| 3) クラブのプログラムが充実していない | 51.6% |

このアンケート調査の結果はいずれにしても、“クラブの活性化”がいかに重要であるかと言っているものなのです。それにしてもこのアンケート調査の回答率が50%以下では、どうして活性化に繋がっていくのか疑問を感じます。会員増強と例会出席率の向上は永遠の課題です。会員が多ければ全てがよいとは限りませんし、少なければ悪いとも限りません。“ロータリーに入って良かった”と思うロータリーを目指したいものです。どんな理由があろうとも、自己研鑽の意を持って入会した会員が、心半ばで退会しなければならない事は、お互いに辛く悲しいことです。辛く悲しいことは人生につきものです。それは少ない方がいいに決まっていますが、避けられるものでもありません。ロータリー財団・米山奨学会・青少年交換に於いては、素晴らしい実績を上げていますし、各クラブが、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕と一生懸命取り組んでいるのに押しつける訳ではありませんが、我々の地域でどれくらい理解しているものでしょうか。広報活動のプログラムを、今一度検討して下さい。地域のニーズに応えるロータリーを基本に、“地域に根差したプログラム”が重要と考えます。「灯台もと暗し」の格言がある通り、「私達の足下」「向こう三軒両隣」に気を配り、そして見つめ直し、地域に根を張る事が出来るとなれば、ロータリーの顔が見えて来るでしょう。「ロータリーに入っていて良かった」「あの人がロータリアンなら、私もロータリーに入りたい」。これが退会防止から会員増強へと道が拓ける事でしょう。

さあ！今年度は「会員増強退会防止」のスタートです。

初めての経験の公式訪問が始まりました。皆さんのご期待に添える事が出来るのか不安でしたが、心暖まる歓迎、激励を頂き感激しました。今後訪問させて戴くクラブの皆さんとお会い出来る事を楽しみにしています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

会員増強目標と退会防止対策を明確にしよう。



会員増強及び 拡大月間に寄せて

会員増強退会防止委員会
委員長 後藤 司
(酒田RC)

世界120万のロータリアンが「親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらす為に」力を合わせ率先しようとRI会長ビル・ボイド氏は、国際ロータリーテーマとして「率先しよう」を発表されました。強調事項と致しましては、水保全・識字率向上・保健及び飢餓、そしてロータリー家族と四つを掲げられました。会員増強退会防止委員会に関係するところでは、継続性の一環ではありますが、各クラブ純増1名と呼びかけております。このRIテーマと強調事項に沿った形で、今年度の関原ガバナーは地区目標に「地域に根差した真心の奉仕」と発表され、具体的目標も提唱されました。よって当委員会はこれらの方針に従い、今月会員増強・拡大月間に当たり、再度活動目標を鮮明に掲げ行動します。

1. 活動目標

- ・会員数10名未満のクラブは、まず10名を目標としよう
- ・会員数20名未満のクラブは、まず20名を目標としよう
- ・会員数30名未満のクラブは、まず30名を目標としよう
- ・会員数40名未満のクラブは、まず40名を目標としよう
- ・会員数40名以上のクラブは、まず1名の純増を目標としよう

2. 具体的に取り組む内容

- ・ロータリーに対する認知度並びにイメージ向上の為に「地域に根差した真心の奉仕」で貢献出来るよう奨励したい。

- ・当委員会の委員全員がガバナー補佐であります。よって、各クラブ訪問時にはクラブ会長を始め、担当の方々に退会防止・会員増強・地域の係わりについての指導をして頂けるよう要請したい。
- ・各クラブの指導力の低下が会員減少となっていると思います。クラブ会長には増強の重要性を充分理解して頂き、強力な指導力を発揮して頂けるよう要請したい。
- ・会員増強は、未来のロータリーを託す人材を得る為の、最大の奉仕である事に理解を頂き奨励したい。
- ・感激、感動を覚えるロータリー活動を奨励したい。
- ・会員増強で強調したいロータリーの特典が理解できるよう奨励したい。
- ・新会員に対するロータリー情報不足の解消と、心配りの徹底を奨励したい。(例会出席が楽しいと感じられる雰囲気づくりを奨励したい。)
- ・各クラブで会員増強目標と退会防止対策を、明確に立案されるよう奨励したい。

以上、申し上げました内容にご理解頂ければ、必ずや「会員増強に対する意識も変わり、増強意欲も高まる」ものと、確信致します。

“不滅のロータリー”の構築



会員増強及び 拡大月間に寄せて

クラブ拡大小委員会
委員長 梅津 武雄
(余目RC)

8月は会員増強及び拡大月間です。21世紀を迎えたロータリー創成の今日、我々ロータリアンは地域に根差した活動が益々重要になってまいりました。これから激変していくであろう社会に対応して、そして未来の輝かしい平和な社会

を目指し、効果的な活動を続け「不滅のロータリー」を築いていかなければなりません。

国内においては、数年前より会員数が連続して減少傾向にあり、我が第2800地区も例外でなく同様な状況下であります。会員数2,000名の維持や、少数会員クラブの運営が困難になりつつある危機的状況であると思います。

2006～2007年度 RIウィリアム・B. ボイド会長のテーマは「率先しよう」であります。ロータリアンが世界や地域を変える力を持っているという会長の信念を表しております。

親睦と奉仕活動を通じて明るい未来をもたらすために、ロータリアン各自が「率先して」会員増強及び拡大に力を入れていかなければならない重要な課題となります。

2006～2007年度第2800地区関原ガバナーは、地区目標として「地域に根差した真心の奉仕」を掲げ、家族及び地域社会に基本を置き、地域の皆さんとの交流を大切にすべきであると強調されております。ロータリーが地域から理解と認知されることに、クラブの会員増加や新クラブ拡大に結びつくものと考えております。

今日、世界のロータリアンの中で、女性会員が10%以上になっているそうです。国内においては「男女共同参画社会」が推進されており、会員増強と女性会員拡大に向けた各クラブの活動と、第2800地区内ロータリアン各位の取り組みを宜しくお願い申し上げます。

ガバナー公式訪問が スタートしました。 鶴岡西 RC

2006年7月7日[金]



富塚鶴岡市長を表敬訪問

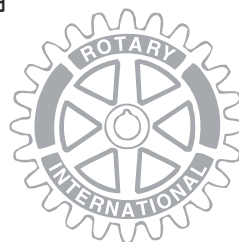
公式訪問の初日は、直前ガバナーのクラブというのが通例で、7月7日(金)石黒慶一直前ガバナーを輩出した鶴岡西ロータリークラブへ、関原ガバナー、小松資金委員長と共に参加をさせて頂きました。SAAを中心に会員自らが例会設営を行っており、スマイルも超活発で、格調高く和やかな雰囲気はさすがでした。石黒直前ガバナー、鶴岡西ロータリークラブの皆さん、1年間本当にお疲れ様でした。地区幹事 高橋 弘哉

【訂正とお知らせ】

ガバナー月信7月号で、22ページの行事予定表に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。
(誤)→2006年7月、その他の行事の欄の「識字率向上月間」は3月の月間行事です。

【主な年間行事(2006年7月～2007年6月)】

- | | | | |
|----------------|--------------|----------------|--------------|
| ○ 会員増強および拡大月間 | 8月 | ○ 識字率向上月間 | 3月 |
| ○ 新世代のための月間 | 9月 | ○ (世界ローターアクト週間 | 3月13日を含む1週間) |
| ○ 職業奉仕・米山月間 | 10月 | ○ 雑誌月間 | 4月 |
| ○ ロータリー財団月間 | 11月 | ○ ロータリー親睦活動月間 | 6月 |
| ○ (世界インターアクト週間 | 11月5日を含む1週間) | | |
| ○ 家族月間 | 12月 | | |
| ○ ロータリー理解推進月間 | 1月 | | |
| ○ 世界理解月間 | 2月 | | |
| ○ ロータリー創立記念日 | 2月23日 | | |



クラブとガバナーのジョイント役を務めます。

■第1ブロックガバナー補佐

寛容の心でロータリーを楽しもう



丸藤 雅毅 (酒田RC)

第一ブロック、8クラブの訪問を終えホッとしております。なにせ初めての経験ゆえ大変戸惑いを感じましたが、各クラブの皆さんから暖かいご支援を頂きました。

この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私は入会以来、一貫して親睦を軸にロータリーの楽しい風に吹かれて今日に至りましたので、未だにガバナー補佐の責務・ロータリーの理念など十分に理解できておりません。しかし、各クラブで真っ先に発したメッセージは「寛容の心でロータリーを楽しもう」の言葉でした。会員増強退会防止基盤の強化に連動します。

今、RIの羅針盤は“超我の奉仕”にしても“率先しよう”にしても私共ロータリアンが大切にしてきたロータリーの原点、一元論的職業奉仕論はどこにも見当たらず、完全にボランティアにシフトされております。

“率先しよう”の本当の意味合いは、関原ガバナーの言う「地域に根差した真心の奉仕」なのであります。この理念が生きているかぎり、クラブの基盤は揺るがないものと実感をもって、各クラブをあとにしました。

■第2ブロックガバナー補佐

「四つのテスト」を基本に！



佐々木 武夫 (立川RC)

今年度第2800地区関原ガバナーより、第2ブロックの補佐を拜命してから七ヶ月も経過致しました。その間、RIテーマ「率先しよう」を基

に地区目標「地域に根差した真心の奉仕」を掲げられました。ガバナーより幾度となく研修の場

を与えて頂きましたが、所詮劣等ロータリアンの私ゆえ、未だに自信の無いまま年度をスタートしました。

ブロック内7クラブの皆さんには友愛の心で激励を受けながら、向こう一年間役目を果たしてまいりたいと思います。

地方経済はまだまだ回復の兆しもなく、各クラブ共に会員減少の傾向にあります。今だからこそ「四つのテスト」を度あるごとに唱えながら、地域の人々と関わりを深める奉仕活動を率先し、ロータリーに対する理解を求めて行かねばならぬと思う次第です。

「ロータリーに入って良かったと言えるロータリー、私もロータリーに入りたいと思われるロータリー」を合言葉に前進しようではありませんか。

■第3ブロックガバナー補佐

率先しよう！

緑 三 郎 (天童東RC)



この度、前年度横尾智三郎ガバナー補佐の後を受け、若輩の身ではありますが、お引き受けいたしました。私の担当クラブは、昨年同様第三ブロック南地区の6ク

ラブです。大変困難で、重い任務ではありますが、会員の皆様のご協力とご指導をいただきながら重責を全うしたいと考えております。

今年度RI会長ウィリアムB・ボイド氏のテーマは簡潔に「率先しよう」であります。そしてまた、当地区関原ガバナーの掲げる地区目標は「地域に根差した真心の奉仕」であります。数回のガバナー補佐研修で関原ガバナーの強い思いがこの地区目標の一言に表されていると感じた次第であります。関原ガバナーの意に添えるよう頑張る所存であります。

さて、第三ブロックの運営方針と致しまして北部地区担当の大石ガバナー補佐と協調しながら

ら、誰もが楽しくそして率先して参加できるブロックのプログラムを計画し、親睦を密にして各クラブの発展に寄与していきたいと考えております。

今年一年間よろしくお願い申し上げます。

■第3ブロックガバナー補佐

ガバナー補佐の重責と責任



大石 雄吉 (最上RC)

いよいよ関原年度がスタート致しました。昨年暮れの12月24日、猛吹雪の中酒田まで車を走らせ、ガバナー補佐の委嘱状を頂いてから

早いもので、六ヶ月があつと言う間に過ぎ去ってしまいました。その間の研修会、地区協議会まで何回となく出席致しまして、その都度重責と責任の重さをひしひしと感じ取ってまいりました。

関原年度の基本理念であります「地域に根差した真心の奉仕」を目指して、一人一人のロータリアンが率先して事に当たる事だろうと思ひますし、ガバナー公式訪問の際は関原ガバナーのロータリー哲学を時間をかけてお話頂き、しかと勉強させて頂ければと念願致しております。

ガバナー公式訪問までに、担当クラブを何回か訪問致しまして、不手際のないようにお待ち致しております。

今年度一年間宜しくお願い申し上げます。

■第4ブロックガバナー補佐

“地域に根ざした真心の奉仕”を率先して

今年度、第4ブロックのガバナー補佐に指名されました。井上時雄
前補佐の五十嵐清之助さんの後 (河北RC)
を引き受ける事になりました。

我が河北クラブは、安孫子貞雄(現パストガバナー)特別代表のもと、寒河江クラブをスポンサーとして(1985年)昭和60年7月10日に誕生



いたしました。今年は22年目になります。

クラブも安泰になった昨今、このような事になろうとは想像した事も、夢に見た事ありませんでした。自分の無知と力の無さも顧み

ず、今になって悩んでおります。でも、お引き受けしたからには、関原ガバナーの掲げる地区目標であります“地域に根差した真心の奉仕”を率先して行うと言うことを、きちっと正確に伝えなければなりません。その中の1つで退会防止があります。2800地区会員数2,000余名、その約1割が第4ブロックの会員数であります。今年は現状維持に持つて行くには、大変難しいのではないかと思われま

す。◎2006年のガバナー月信8月号(第2号)に『クラブ拡大と地区分割の思い出』と云う記事が載っておりました。寄稿して下さった方は九里茂三氏(現パストガバナー)であります。私は大変感銘を受けました。(故)村上七五三さんの事柄です。(故)村上ガバナーの時、自分は河北ロータリークラブの会長だったのです。(故)村上ガバナーの研修会に2度参加しましたが、その後は残念ながらお逢いする事は出来ませんでした。河北クラブの公式訪問には、九里先生(現パストガバナー)が来て下さいました。今思うと頭の下がる思いでいっぱいです。九里先生ありがとうございました。いつまでもお体には十分気を付けて、丈夫で長生きして下さい。私も頑張ります。

◎今年度のRIテーマは率先しようです。第4ブロックの豊富な経験を生かし、会員皆様方のご協力を戴きガバナー補佐として貢献出来ますように、今年一年私を支えていただければ幸いです。

関原ガバナー、ご指導宜しくお願い致します。

■第5ブロックガバナー補佐

人の和・友愛・親睦・奉仕



齋藤 太平 (山形南RC)

この度関原ガバナーの下で、第5ブロックガバナー補佐の大役を担わされまして、その重責に困惑している状態です。

それは過去を振り返り、27年の長い尊いロータリアンとしての経歴は何だったのか。今、自分の立場をしっかりと踏まえ、真のロータリアンとしてロータリーの理念と基本を学び、ゼロからの出発点とし、今まで自分がターゲットとして来ました「人の和・友愛・親睦・奉仕」を念頭に入れ、努力して参りたいと思います。

例えば今年度の重大な目標の一つ（会員増強退会防止）にしても、ある時期自分達のクラブは90人を超すクラブでした。それが今現在では65人と減少しております。あの時はバブルの時期だからと言えばそれまでですが、ロータリーの存在感は変わらないのではないだろうか。

今年度の関原ガバナーも全世界を通して、各クラブ純増一名を目標に掲げております。その為のプログラム、広報活動の実行・・・結果としてその目標をクリアするには、我々ロータリアンの存在感を世界の人々、又一般社会、市民の人々にもっともっとアピールすべきであり、その為にはクラブ内のプロジェクトを組んで「地域密着型の真心の奉仕」に繋げるため、具体的にクラブ内が和気あいあいの楽しいクラブ造り、ロータリーに入って良かったと言えるロータリー造り、私もロータリーに入りたいと思うロータリー造りに徹して行きたいと思います。

この度は一つの重大な例を挙げましたが、各クラブの皆さんは会長・幹事さんを中心に素晴らしいクラブ造りに専念して頂きたいと思ひます。



■第5ブロックガバナー補佐

ガバナー補佐を引き受けて



平吹 和之 (山形西RC)

私は第2800地区2006～2007年度、関原ガバナーより第5ブロックガバナー補佐を任命され大変光榮に存じます。しかし、その責任

の重さを感じているところであります。

国際ロータリー、ビル・ボイド会長の今年度のRIテーマ『率先しよう』を世界のロータリアンに発信致しました。それを受けた関原ガバナーは、地区目標に「地域に根差した真心の奉仕」を掲げられ、第2800地区のロータリアンに

- ・ロータリーに入ってよかったと言えるロータリー
 - ・私もロータリーに入りたいと思うロータリー
- そして、身近なところをもう一度見直しをしようではないか、と問いかけられました。私はこのテーマと目標を担当クラブに伝え、各クラブは今年度をスタートしたものと思ひます。

又、C・L・Pについても今年度からクラブに合った組織を作るべく作業を開始するものと期待しております。

委嘱を受けた重要性を心に刻み、関原ガバナーの意思を会員の皆様に伝えることを今年度一年間頑張りますので、皆様の協力宜しくお願ひ致します。

■第6ブロックガバナー補佐

ロータリーのRはビタミン“R”



鈴木 政昭 (米沢RC)

さる平成17年12月24日酒田市において、関原ガバナーエレクトから「委嘱状」を受けてから早いもので半年が過ぎ、時の流れの速さに吃驚しているが、米沢RCに廻ってきたこの役割を

今思うに、ふとしたはずみでなんとなく引き受

けたように思えてならない。何を今更の感を持つが……。と言うのは引き受ける前の頭の中と、引き受けるはめになった後の頭の中が、どうしても1つの頭として「実像」が今でも正直言ってくっきりとは結んでいない気がしてならない。「自分でもサテ困ったものだ」と思っている。

関原ガバナーエレクトの開口一番の話が、元氣よく「ロータリーはビタミンR です」は鮮烈で刺激的であった。（こんな考えもあったのか。と言う感じ）ガバナー補佐を指名されてから、その役割はガバナーの意向を担当ブロック内の各クラブへ伝え、また各クラブの状況なり要望をガバナーに伝える連絡係であると理解した。連絡係ならばと、自分に納得させているところです。しかし、ガバナーの意向をキチッと伝えなければなりませんので、さてそこに不安が生まれます。そのためにロータリーをしっかりと理解していなければ正しい伝達は出来ないと思うし、しかし後戻りも出来ず、切羽詰ってこれもロータリーを理解する勉強の場と考え、今まで時々しかページを開くこともしなかった「ロータリーの友」を少しだけ読み出している始末です。

私の担当地区は第6ブロック13クラブのうち6クラブです。ガバナーの意図される方針を、どこまで消化し理解できるか分からないし、大変に荷の重い役割ですが、気負わず自分の能力の範囲内だと思います。

ついては各クラブの皆様どうぞ宜しく、ご指導の程お願い申し上げます。

■第6ブロックガバナー補佐

ガバナー補佐の委嘱を受けて



安達 衛吉（長井RC）

奉仕の理想の実現こそロータリアンの使命と考えます。

幸せという字をごらん下さい。土地があって家がありお金があれば幸せと思っていたのが昔の話です。

いまはそうではありません。人間としての土

台がしっかりしていて財源があれば幸せといえるかも知れません。

関原ガバナーの、ロータリーにかける情熱が痛いほどわかります。基盤の充実を図るため、どうしても会員増強が必要なのです。各クラブともそれぞれ事情がおりかと思えます。今こそ率先してロータリーの充実に力を傾注しようではありませんか。

毎年強調されているテーマは、いずれも必要欠かすことのできないものばかりです。さらに挙げるとすればそれは道德教育です。人間の基本が充実されてこそ理想の実現ができるからと思うからです。ロータリー各クラブのご健闘をご祈念いたします。



敬愛する 日本ロータリアン皆様！

第8回目の韓日親善大会が来る9月8日から9日の両日間、ソウルにあるグランドハイアットホテルにて開催することになりました。

国際ロータリー3650地区と3640地区がホスト役を、3690地区、3750地区、3600地区がコホスト役を努めさせていただきます。

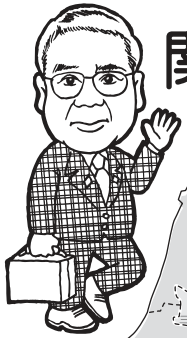
内容に充実を期し、楽しい中にも意義ある思い出深い大会になりますように、心をこめて準備を進めさせていただきます。

私たちは本大会を通じてロータリーの過去の歩みへの見直し現実への直視の上未来への想像といった、大きな夢のある大会にしたいと思っております。

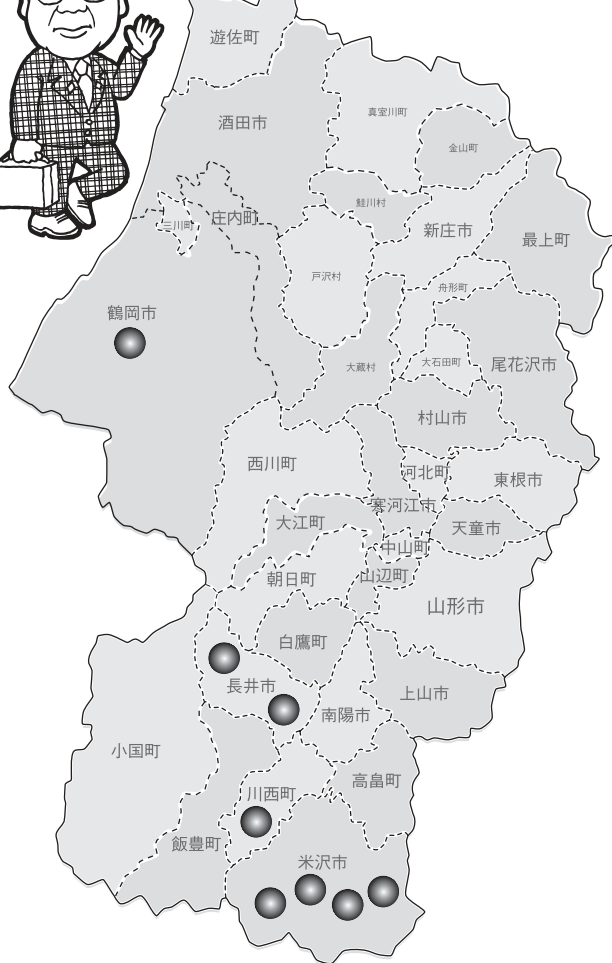
また、この大会を通じて兩國ロータリーの益々の発展を祈願いたします。

日本のロータリアンの皆様とご家族の方々のご参加をいただき、實のある大会になりますよう心から願っております。

韓日親善委員会
委員長 蔡 熙 秉（前RI理事）



関原ガバナー奮闘記



ガバナー公式訪問

2006年7月11日[火]

米沢
上杉
RC



歓迎のスマイルの多さに感激しました。完璧な年次計画書を公式訪問に合わせて下さった事に敬意を表したい。戎谷会長は「多くの方々との出会いから、多くの事を学ばせて頂いたお陰で今の私があり、会社を守ることが出来た。このご恩に感謝して四つのテストを旗印に、ロータリーの綱領を大黒柱に据えて会員一同恩返し出来るロータリーを目指したい。職業奉仕はロータリーの金看板。」

例会終了後、鈴木AGの案内で清野米沢新聞社社長へ、米沢市内四クラブ会長共々表敬訪問し懇談しました。

2006年7月12日[水]

米沢
中央
RC



創立20周年記念事業実行委員会企画「富士登山」、7/9日10日両日16名参加。内4名は応援団で12名登頂に成功し、20周年を爽やかに祝った。

又、環境保全の一環として、目的のゴミ拾いも敢行した。拍手を送りました。スポーツは子供たちの健全な成長と、限らない夢の実現に、次代を担う青少年の健全育成として取り組む一年にしたい。礼に始まり礼に終わるスポーツ精神が失われつつあります。道徳、友愛など人生の指針となるように「率先して」発信したい。羽生会長の並々ならぬ決意に感動しました。次年度大友ガバナー輩出クラブとして、大いに期待されています。

2006年7月13日[木]

米沢
RC



来年度創立50周年を迎えるクラブ。気品と尊厳を感じました。SAAの委員長、秋葉隆子さんの明解な指示のもと、調和がとれ若干緊張ぎみの雰囲気は心地良さを感じました。やはり尊敬する濱田、九里パストガバナーの両巨匠の揃い踏みのせいかも知れません。「変えよう、変わろう、そして50周年へ（前へ）」「歴史と伝統」そして「尊厳」を継続するためにこそ「変わる」ことが必要な事だ。「この地域のリーダークラブとしての自覚をもって“率先しよう”ではありませんか。」と呼びかけている高橋会長には頭が下がる思いでした。ご発展をお祈りします。

2006年7月14日[金]

米沢
おしょうしな
RC



創立7年とまだ若いクラブ。会員数は32名。7・5・3のお祝いをしたいなと思いました。

「会員相互の“思いやり”と一人一人が率先して行動に移そう」のクラブテーマの下、思いやりの心を育むロータリーの構築が一番と思っています。取り上げて指針を与える石塚会長に敬意を表します。「地域に根差した真心の奉仕」で頑張ろうではありませんか。有意義な例会でした。

例会終了後、鈴木AGの案内で、安部米沢市長、宇津井山形新聞置賜総支社長に米沢四クラブ会長共々表敬訪問しました。

2006年7月18日[火]

長井
RC



PETS・地区協議会で発表したRIテーマ、重点事項それに地区目標を充分把握して頂いている為、その目標に添って年次計画を立ててくれた事は有り難く思いました。新入会員(渡部清隆氏)の入会セレモニーに接し、井上会長の思いやりの心に触れました。又この公式訪問例会を、100%出席例会と計画し実現出来たことに感激し頭の下がる思いでした。創立45年のクラブの威厳と重みを感じ、私にとって思い出に残る訪問でした。大歓迎に感激。渡部バストカバナーとの再会に感謝。

2006年7月19日[水]

長井
中央
RC



721回例会が公式訪問でした。第16代目の会長としてご就任なされた遠藤和雄氏、幹事の鈴木利昭氏のきめ細かい応対が、梅雨空のうっとうしさを解消してくれました。20周年の中期目標はクラブの基盤の確率です。次年度の田中エレクトに引き継がれる事が重要と話されていました。例会出席率を見ても、将来楽しみなクラブになるでしょう。親クラブの多数のメイクはすばらしかった。例会後、両クラブの会長、幹事、カバナー補佐共々長井市役所に表敬訪問し長谷部助役と懇談しました。

2006年7月20日[木]

川西
ダリア
RC



創立11年目。渡部バストガバナーがガバナーの時、クラブ拡大の一環として誕生。次の10年に川西ダリアの作風を創る事を念頭に一年の計画を立てた。黒澤会長の今まで培ってきた豊富な知識を充分発揮され、当初の目標を達成出来るクラブと感じました。環境の良い例会場は気分が爽やかになり、羨ましく思いました。地域に根差したロータリーを目指すクラブ、川西ダリアに拍手を送ります。

A. M. 9:00から黒澤会長の案内で、鈴木ガバナー補佐の3名が川西役場を表敬訪問。原田町長と懇談し、ロータリーも町の行政も相通じるところがある等と話し合い、有意義な訪問でした。



国際ロータリー第2800地区 ロータリー財団委員会

研究グループ交換 (GSE) プログラム

GROUP STUDY EXCHANGE PROGRAM

2006-2007 募集要項

国際ロータリー第2800地区（山形県）では、2007年2月から3月にかけてインドの第3080地区に派遣されるGSEチーム・メンバーを募集しております。参加を希望される方はつぎの要領により応募してください。



◆研究グループ交換 (GSE) とは GSEはロータリー財団の教育プログラムの一つで、25歳から40歳までの職業人を対象にして、海外における職業の実態や文化を学び、意見交換を行う機会を提供しています。このプログラムの大きな特徴は、個人的な経費を除き、旅費、滞在費などすべてをロータリー財団と訪問先であるホスト地区が負担すること、およびチーム・メンバーの希望に沿って、ホスト地区が企業や施設の見学日程を作成することです。海外出張の機会が少ない企業にとって、将来を担う従業員の教育には、たいへん効果的なプログラムです。派遣チームはリーダー1名（ロータリアン）とメンバー4名で構成され、滞在期間は約4週間です。

◆派遣先 国際ロータリー第3080地区（インド北部）



■RID3080の概要

インドの北部、首都ニューデリーを囲む5つの州（ハリヤナ州はその一部）と一つの直轄地からなる広大な地域。その一つウッタールプラデシュ州の人口は、1.6億人で日本の全人口を上回る。

特にこの地域は、急速に発展する工業地域と伝統的な農業生産地という二つの特性を持つ。近年は工業団地が次々に新設され、海外からの投資の受け皿地域となっている。

一方ガンジス河流域はヒンドスタン平原でインド最大の穀倉地帯。ヒマラヤ山脈に南西風が当たり降雨も多い。

水に恵まれたウッタールプラデシュ州、ハリヤナ州、パンジャブ州は代表的な農業地域。コメや小麦の一大産地となっている。

訪問予定の2月から3月は観光のベストシーズンといわれている。



◆派遣期間 平成19年（2007）2月10日～3月10日（2月9日出発予定）

◆募集人員 チーム・メンバー4名および補欠メンバー1名

◆応募締切り 2006年8月31日（木）ガバナー事務所必着

◆面接予定 2006年9月9日（土）ガバナー事務所

◆応募資格

- ・派遣時において満25歳から40歳であること。
 - ・世間に認められた職業に就いており、少なくとも2年間継続して雇用されていること。
 - ・一般的な教育を受けており、文化についての理解があること。
 - ・自ら選んだ職業に熱心に取組んでおり、優れた技能を有すること。
 - ・当地区内に居住、または勤務し、日本国籍を有すること。
 - ・健康であること。
 - ・雇用主の許可を得て、4週間のGSEプログラムに参加できること。
 - ・偏見がなく、自分の意見を理論的に明確に述べることができる。
 - ・ロータリアン、その配偶者、2親等以内の直系尊属または卑属でないこと。
-

◆応募方法

- ・添付のGSEチーム・メンバー申請書に必要事項を記入し、居住または勤務する地域のロータリークラブ会長の推薦を受けてください。
 - ・GSEプログラムに参加する理由、また学ぼうとする専門的職業、文化などについてのエッセイ（1200字以内）を申請書に添付してください。（これはチーム・メンバー選考のための資料となるほか、ホスト地区が研修日程を作成するときの参考資料とします。）
 - ・雇用主の推薦状を申請書に添付してください。個人で営業されている方が応募される場合は必要ありません。
-

◆応募申請書の送付先 〒998-0023 酒田市幸町1丁目10-20 東急プラザビル1F
国際ロータリー第2800地区ガバナー事務所
ロータリー財団委員会GSE小委員会

◆チーム・メンバーとして選ばれた場合の義務

- ・事前研修に参加します。研修は約10回程度行われる予定で、内容はロータリーの奉仕、訪問先の文化や歴史、英会話、ホスト地区のクラブで発表する資料の準備などが含まれます。研修日はチーム・メンバーの都合に合わせてます。
 - ・2006年10月14日に開催される第2800地区大会に出席して挨拶します。
 - ・帰国後に報告書を作成します。
-

◆GSEチーム・メンバー応募に関する問合せ先

2006-07年度第2800地区ガバナー事務所まで電話、FAXまたはe-メールでお願いします。

電話：0234-26-0705 FAX：0234-26-0706 Eメール：office2006@rid2800.jp

◆参考資料 ロータリー財団からGSEに関してつぎの資料が発行されています。いずれも〈国際ロータリー〉のウェブページからアクセスし、最初に日本語を選択して、ダウンロードをクリックしてください。資料のリストが表示されますから、必要なタイトルを選んでください。

- ・研究グループ交換：チームの手引き164-JA-(605)等
-

ようこそ『ロータリーの友』二神編集長！

7月18日(火)、15時から遊佐町の鳥海温泉「遊楽里」においてセミナーを開催致しました。関原ガバナーは公式訪問の為に欠席されましたが、年度初めに当たり、カバナー月信担当者とロータリーの友委員が、お互いに共有した地区情報の収集と、地区からの発信を行なうために、諸々の疑問点を抱えながら出発せざるを得ませんでした。何回かの定期的打ち合わせ会議において、情報に対する深度化を図ろうという提案があり、セミナーを開催する事になりました。二神(ふたがみ)編集長からは、月刊『ロータリーの友』誌の目的や構成、特に横組みと縦組みについては、まず横組みはロータリアンの関心事項などに関する特集を、ついで縦組みは日本国内のロータリアンのコミュニケーションならびに情報交換を目的に、主に投稿記事で構成されているとの事です。『ロータリーの友』に掲載されている記事と写真は著作権と版権があります。「ガバナー月信」「週報」、その他出版物などへ無断で掲載する事は著作権に

関わるので必ずご連絡下さるよう、等の指導事項もありました。投稿記事はあまり掲載される事を前提に考えないでほしい。写真は“活動”している所とか、楽しいロータリー活動の中から地区発信をして下さるようにと、述べられました。

担当者一同、自信を持って情報発信が出来るように頑張るつもりです。

(ロータリーの友委員・遠藤芳文)



文庫 通信

No. 226

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

【広報について】

- ☆「行動広報」————— D.2650 2005 22P [申込先：ロータリー文庫]
- ☆「超我の奉仕(広報について)」—— D.2630 2005 3P [申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ☆「動き出した広報」武部 宏 ——— 2005 2P (D.2650月信)
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ☆「広報と宣伝・広告のちがい」大久保 昇 ——— 2005 3P (D.2650月信)
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ☆「『広報・ITに関するアンケート調査』の集計結果について」岡本 比呂志
2006 2P (D.2570月信)
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ☆「広報の立場から」西村 二郎 ——— 1982 1P [申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ☆「ロータリーに於ける広報とは何か」前原 勝樹 1985 2P
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ☆「ロータリーを『わかる』ために一巻き込み、渦を起こすのが広報」森 三郎
1995 16P
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

【ロータリー文庫】 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

新しく仲間になられた方々をご紹介します。



片桐 嘉和君
2006年7月5日入会
米沢中央RC
タクシー業



本多 喜悦君
酒田東RC
中小企業診断士



本間 公輝君
酒田東RC
日本料理



佐々木 芳弘君
2006年7月7日入会
天童RC
貯蓄銀行



齋藤 俊英君
2006年7月7日入会
天童RC
税理士

「超私の奉仕」を実践するロータリアンが社会に認められました。

田宮医師(鶴岡)に感謝状贈る
J P財団 山間地域の医療に尽力

山間地域の住民の医療、健康保持に長年尽力してきた、鶴岡市木野侯(84)に対する「J Pファシリティー生がいが振興財団」の感謝状伝達式が二十一日、鶴岡警察署で行われた。

同財団は、警察職員の活動も安全な地域社会の実現などを支援する組織で、式では、県警察官友の会の相馬健一(会長、山形新聞・山形放送会長)も担っていた。田宮さんは「地域医療を五十七年も担っていたら、これからは頑張りたい」と激励し、感謝状と記念品を伝達。田宮さんは「地域の皆さんのおかげで長年続けられた。感謝申し上げます」と謝辞を述べた。

田宮さんは妻・由美子さんとともに出席。引き続き、同友の会の加藤治郎(右二門事務局長)や本間新之助(理事)、難波真一(理事)、稲毛健一(同署長)などと懇談した。

田宮さんは一九四九(昭和二十四)年、診療所を開業。半世紀以上にわたり、山間過疎地の住民の医療向上のために尽力してきた。



去る平成18年6月19日(月)、我がクラブの伊藤三郎君(84歳)が東京のグランドアーク半蔵門に於いて、多年に亘り民間ボランティアとして県警本部長からの委嘱を受け、地域の少年非行防止及び健全育成の成果が認められ、漆間巖警察庁長官から「少年補導栄誉金章」を受賞されました。

過年度に於いて、平成9年には銅章、平成14年銀章と全国表彰を受けての受賞です。

(酒田RC提供)



山形新聞
2006年6月22日

県公安委員に 加藤氏を任命

県公安委員に、加藤氏を任命し、任期は7月8日から3年間。

加藤氏は、知事が県議会の同意を得て任命する。任期は一期3年で、最長3期までと警察法で定められている。昨年7月からは、県議会の承認を経て、6月7日付で

荘内日報 2006年6月28日

加藤氏の任命は、山形県公安委員に任命され、任期は7月8日から3年間。加藤氏は、知事が県議会の同意を得て任命する。任期は一期3年で、最長3期までと警察法で定められている。昨年7月からは、県議会の承認を経て、6月7日付で

